

港区まちづくり マスタープラン

麻布地区

意見交換会ニュース vol.1

令和7年8月

麻布地区で意見交換会を開催しました

社会経済状況など、港区を取り巻く環境が大きく変化していることから、区では「港区まちづくりマスタープラン」の改定に取り組んでいます。改定に当たっては各地区(芝地区、麻布地区、赤坂地区、高輪地区、芝浦港南地区、台場地区)で意見交換会を開催し、多くの皆様に参加いただきました。令和7年7月22日には、麻布地区の意見交換会を開催しました。



まちづくりマスタープランとは

港区のおおむね20年後を見据えた、まちの将来像、まちづくりの方針や取組等の考え方を示す計画です。都市計画に関する土地利用や道路・公園の整備などハード分野を中心に、防災、環境、国際化、観光、福祉、子育て、環境、文化、健康増進など幅広くソフト分野の視点を取り入れて、まちづくりの方向性を示します。

区民意見交換会

区民意見交換会は、地域の実情等をお聞きするとともに、地域の魅力・地域が抱える課題や将来ビジョンについてお伺いし、把握することを目的に開催します。ご意見を骨子案や素案に反映させることで、実態を踏まえた実効性のあるマスタープランにつなげていきます。次回意見交換会は、12月頃に開催予定です。



当日は、区より、マスタープランの概要や地区の現況等について紹介の後、「地区の魅力」「地区の課題」について意見交換しました。主な意見を次頁にまとめています。

当日の主なご意見

— 麻布地区の魅力と課題について、ご意見をいただきました —

土地利用・活用

繁華街と住宅街のコントラストの魅力

- 来街者の多いエリア、閑静な住宅街の両方があることが魅力。

文化施設が徒歩圏に集積している

- 日本を代表するような美術館に、徒歩で行ける。

道路・交通

交通の便が良い/ 品川・田町方面へのアクセスが課題

- 公共交通が充実している。道路が広く歩きやすい。一方で品川・田町方面への公共交通が少ない。

高低差があり坂道が多い

- 坂道が多いことが特徴。最短経路だと坂道を通る必要があり、坂道を迂回すると距離が延びてしまう。
- 道端に高齢者が休めるベンチがあるとよい。

歩道を走る電動キックボードが怖い

- 電動キックボードは、歩道でスピードが出て怖い。

防災・復興

地区に合わせた災害対策が必要

- 地域全体として地盤が良い。一方で、大雨が降ると、麻布十番駅付近が冠水する。
- 密集市街地は風情があるが、防災対策が重要。

景観

新しい街並みと古い街並みの共存

- 神社仏閣、再開発による高層建築、風情ある住宅街など、新しい街並みと古い街並みが共存する。
- 歴史のある坂道が多く、趣がある。

低炭素化

電動自転車の活用

- 赤い電動自転車のシェアサイクルポートが増え、よく使われている。

国際化・観光・文化

国際色豊かな文化が育まれている

- 大使館が多く立地している。交流の機会がもっと増えるとよい。
- 外国人が多く住み、国際色豊かである。

住宅・生活環境・地域コミュニティ・防犯

若い世代が多く活気がある

- 子どもや若者、子育て世代が多く、活気がある。

タワーマンションによる 地域コミュニティの希薄化

- 人口は増えているが、地域の交流は減っていると感じる。町内会・自治会には、高層マンションの住人は参加していないことが多い。祭りで神輿を担ごうにも、運営メンバーが集まらず、高齢化とともに開催が難しくなってきた。

商店街の地域色が薄れてきている

- 家賃が上がり、商店街の老舗が店を閉め、チェーン店が増えており、地域色が薄れてきている。

夜のまちの治安対策

- 夜も治安のいい六本木になってほしい。

緑・水

有栖川宮記念公園に癒される

- 有栖川宮記念公園は子どもの頃からよく通った。今も自然が残り、癒される。

古川の水辺をもっと活用したい

- 麻布十番駅付近の公園の噴水は、子どもが遊べて涼しげ。
- 街なかに水辺が感じられるまちの魅力がある。古川の水辺環境をもっと生かしたい。

